

介護力。

つける!
めがく!

介護職を
募集しています。

介護福祉士 / 介護職員 / 介護奨学生

2022年 入職

今だけじゃなく、
未来の社会に役立つ仕事

もともと介護業界に興味があったのですが、家族や友人など身近な人たちから「優しいから向いている」と言われたこともあり、具体的に考えるようになりました。実際に働いてみて、優しさが活かされる仕事なら例えば保育もありますが、介護の“それだけではない部分”もまた自分に合っていると最近を感じるようになってきています。

入職3年目には、入居者さんへの個人的なケアのほか、介護職としてのリーダー業務や、看護職、訪問介護職などとの連携など、仕事のフィールドが広がってきました。私は入職以来、認知症の方が多いエリアを担当していて、入居者さんとの意思疎通やより良いケアについて考えることも多いのですが、これが高齢化がすすむ今、そして未来の社会の実態だと感じています。

ケアの現場では入居者さんたちの笑顔に励まされて日々の業務を続けるなかで、これからの社会の役に立つ視点や思考、スキルなどが培われていく。そんなところにもこの仕事の魅力を感じています。

オフタイム
休日の過ごし方

野球観戦は最高の癒しです。

オフタイムにはゲーム、買い物、動画鑑賞などをして過ごすことが多いですね。そのほか子供のころからずっと変わらない趣味として、よく家族で野球観戦に行っています。家族みんなで応援する球団がありますが、その中でも特定の選手を推していて、応援はもちろんグッズ購入も楽しんでいます。



2020年 入職

学びもチャレンジも
ずっと続いていくことなんです。

私が介護の仕事に興味を持ったきっかけは、中学生の夏休みにボランティアで、障害児とプールで触れ合ったこと。そのときに彼らのことを「普通の子と変わらない」と感じ、手助けが必要な人の役に立ち、またそれを実感できる仕事に就きたいと考えました。

入職して1年目に卒1研修、2年目に卒2研修、3年目に卒3研修と段階を踏んで研修と実務に当たり、4年目にはプリセプターを経験しました。5年目の5月に副主任となり、経営面やマネジメントなどといった新しい領域でのチャレンジとなりました。

7年目を迎えた今も日々、学ぶことばかりです。自らその時々々のステージに合った学びを続ける一方で、後輩や部下など人に何かを教える機会や比率が年々増えてきたと感じています。自分も周りと一緒に成長できるよう、みんなで助け合って行けたらいいですよ。

オフタイム
休日の過ごし方

動物カフェで充電しています。

最近結婚したばかりなのですが、妻と交際時代からよく一緒に行っているのが「動物カフェ」イヌ、ネコだけでなく、ブタ、モモンガなどいろいろな動物と触れ合っています。もともと動物好きなので、とにかく癒されます。ほかにロックフェスに行くこと、アイドルを推すことなども日々の活力になっています！



人の人生に関わる仕事に
やりがいを感じます。

高校時代はバスケットボールに夢中でしたが、将来のことを考えて介護が学べる専門学校に進学しました。実習で医療生協さいたまに訪れたとき、丁寧に指導してもらい、アットホームな雰囲気に惹かれて入職を決めました。

つねに人生の大先輩と接する気持ちを持つことを心掛けています。1年目は一つひとつの仕事を覚えることに必死な毎日でしたが、2年目になり徐々に慣れてきて、利用者様とより深く向き合え、介助もスムーズに行えるようになりました。

介護を通して命と向き合う瞬間もあります。ご家族様に「ここで看てもらえてよかった」と言っていただけたときは、利用者様の人生に関わっているという実感が持てた気がします。その方の人生を支えていくという責任感も増し、それがモチベーションにつながっています。

コツコツと経験を積み重ね、将来的にはケアマネジャーの資格が取れるよう、スキルアップしていきたいです。

2025年 入職

AM

8:30

業務開始

配膳・食事介助・下膳
排泄介助・身支度



10:00

ティータイム・集団体操



11:00~13:00 交代で1hのお昼休憩

PM

12:00

配膳・食事介助・下膳



13:00

13:00~15:00 クラブ活動、散歩、お風呂など



15:00

おやつ

15:00~17:30 個別ケア



17:30

日報などのデスクワークをして 業務終了



オンオフのメリハリを大事に!

仕事に集中できるよう、自分なりのリフレッシュ方法を持ち、オンオフを切り替えるようにしています。仕事終わりは職場の仲間と食事を楽しみ、休日は水族館や植物園、美術館、アート展など興味のあるところにアクティブに出かけ、リフレッシュしています。

オフタイム
休日の過ごし方



未来につながる、総合キャリア支援

今の課題は自立です。

入職1年目はプリセプターの方が手取り足取り教えてくれますが、2年目は自立する心構えが重要だと感じています。どうすればいいかという、とにかく周りを見て動くこと。教えてもらうこと、指示されることを待つのではなく、自分で察して動くことですね。わからないことが現場で解決できなくても、上司、先輩やプリセプターの方などが定期的にフォローしてくれるのですごく助かっています。



2023年入職

視野が広がってきました。

3年目を迎えた最近の業務で重要性を感じていることのひとつに、看護や訪問介護など介護以外に携わる別分野のプロとの連携があります。1年目は入居者さん、2年目は介護職内にあった視座が、3年目を迎えもうひとつ上があったり、視野が広がったように感じています。入居者さんのために連携する同僚やその組織への理解を深め、より良いケアへと繋げていければと思っています。



2022年入職



SKILL UP

1年目の流れ

● 卒1研修

4月

日勤

6月

変則勤務(早・遅番)

10月

夜勤

1月

リーダー業務

- ・ まずは業務を覚える事からスタートします。
- ・ プリセプター※が1年間を通じてしっかりと教育に当たるので安心です。
- ・ プリセプター※と共に業務に動くので、不安はすぐに解消できます。
- ・ 1つずつ介助に入っていくので、その方のペースで成長ができます。
- ・ 変則勤務が始まってから、給与規定に基づき業務手当が支給されます。

最長3年間のサポート

※プリセプター=指導育成者

まずは

寄り添

支援す

なんとか

入職1年
社会人・専門職
としての第1歩

< 期待され

- 指導助言をうける活動に参加
- 与えられた業務をこなす

生協10の基本ケア ～ふだんの暮らし、そのままに～

生協が大切にしていること

1 換気をする



病気予防には換気が大切。新鮮な空気を取り入れ、衛生的な環境を守り、感染症を予防します。

2 床に足をつけて座る



日常生活がリハビリという考えの下、足を使って立ち上がる習慣を身につける中で、トイレやお食事などご自分でできることを増やします。

3 トイレに座る



トイレで排泄する事は人間が護るべき尊厳の基本と考えます。布パンツでの暮らしをサポートします。

4 あたたかい食事をする



ご自身で調理して盛りつけたり、親しい方と楽しく食べたり。誤嚥(ごえん)防止のために、食事前には口の体操も行います。

5 家庭浴に入る



湯船にゆったりつかる習慣は日本のすばらしい文化。生活リハビリの効果を生かして家庭浴への入浴を大切にしています。

支援

先輩からのアドバイス

私は現在、老人保健施設の介護長として業務にあたっています。管理職を目指す人に一番重要なことは、人の話をしっかり聞くことと、タイムマネジメントの意識を持つことだと思っています。どちらも入職1年目、介護研修の時点から意識・実践できること。上司や同僚、そして入居者さんの話を聞く、また業務が立て込む時ほどタイムマネジメントを意識してみると視野が広がるのではと思います。

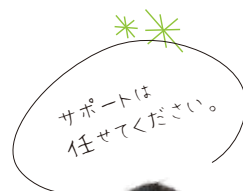
2008年入職



大先輩からのアドバイス

現在は所長として、人の採用や育成、事業運営に携わっています。主な仕事は、施設のマネジメント、労務管理、管理者指導など。介護のほか、看護、施設運営、事務(=経営)と広い分野に関われる楽しさを感じています。多岐に渡る業務の中で、一番大事にしていることは「職員にやりがいを持って長く働き続けて欲しい」ということ。激動する時代の変化とともにさらに進化していければと思っています。

2003年入職



CAREER UP

医療生協さいたまキャリアラダー指針

入職2年目

経験を重ね、考える力を養う

< 期待される役割 >

- 経験値を上げる
- 経験したことの意味や理由を考える

入職3年目

自律と確率、組織への貢献

< 期待される役割 >

- 経験から得たことを自分の中に取り込み職業人としての自己を確立する

入職4年目以降

自律とリーダーシップの発揮

< 期待される役割 >

- 経験から得たことや、身につけた知識・技術を活動の実践に反映する

みる
添う
する
かする

主目
業人

る役割 >

けながら様々
する
務を確実にこ

ている介護

尊厳を護る

自立を支援

在宅を支援

ご利用者を寝たきりへとさせず、
これまでの生活が続けられるように支援します。

6 座って会話をする



安心感を与えられるように座って会話をします。共に時間を過ごし、日々の見守りを行います。

7 町内におでかけをする



慣れ親しんだ地域に出かけることは社会性や精神的な豊かさを保つためにも大切なこと。これまでの生活リズムを維持できるようにします。

8 夢中になれることをする



自分らしく、好きなことに夢中になれる機会や、居場所づくりに取り組みます。

9 ケア会議をする



ご自分の街で住み続けられるように、社会性と暮らしを守るケアプランをつくります。職員はチームでケアに取り組み、ご家族を含めサポートします。

10 ターミナルケアをする



医療生協さいたまでは、誰もが安心して働けるよう 職員へのサポート体制を充実させています。

働きやすい環境を提供します。

家賃補助制度

配属先から2km圏内で
好きなアパートが借りられます。

1～2年目	8割補助
3～7年目	5割補助
8～15年目	1割補助



自立のために利用しました。

実家を出て自立したいと思い、入職と同時に一人暮らしを始めました。職場には徒歩で通えるので、夜勤明けの日も楽ちん。掃除も洗濯も全部自分でやってみて、親のありがたみを実感しました。休日は外出してリフレッシュしています。



好きなことが疲れを癒やしてくれます。

実家が遠く、通勤に片道2時間ほどかかることもありました。生活が落ち着き夜勤も始まる入職後約半年で初めての一人暮らしをスタート。家賃負担額が少なく、趣味の推し活を楽しんでいます。



学生がんばれ！

奨学貸付金制度

介護福祉士学生の学びを応援します。

埼玉医連・医療生協さいたまの奨学貸付金制度は、学生の中から私たちが行っている介護・医療活動に触れ、その理解を深め、しっかり学業にも専念してもらえるように様々な場面で皆さんをバックアップしていく制度です。

対象 —————
介護福祉士資格が取得できる学科に入学予定、または在学中の方
(選考方法:書類審査及び面接)



月4万円

入職される方は
返済不要と
なります。

頼りになる制度です。

高校生の時に奨学金について調べる中でこの制度を知りました。看護師のインターン経験から介護に興味があり、就職面でもプラスと考え利用しました。結果、学生時代には授業や資格取得に集中でき、今は余裕のある生活設計を実現できていて感謝しています。

短期間でも利用できます。

大学4年生の実習でお世話になった時に教えていただき、利用しました。利用期間は卒業までの数ヶ月間でしたが、ありがたかったです。入学前に申請するだけでなく、在学中、しかも4年生からと短期間でも利用できることを事前に知らなかったのが驚きました。



女性にも男性にも

頼りになる育児制度

育児・介護による休業・休暇を
「ファミリーサポート休業・休暇制度」と
総称した制度があります。

- ・育児休業
- ・出生時育児休業
- ・介護休業
- ・不妊治療休業
- ・子の看護休暇
- ・介護休暇
- ・不妊治療休暇
- ・所定外労働の制限
- ・時間外労働の制限
- ・深夜業の制限
- ・短時間勤務
- ・復職後の勤務と
年次有給休暇



お父さんになりました。

立ち合い出産で1日、そして育児休業で1ヶ月、お休みをいただきました。出産、育児の大変さを実感できたこと、育児に最初からしっかり関わられたこと、また妻の産後の体へのダメージを実感してケアできたことなど、その収穫は大きかったです。当然今も育児頑張っています！

仕事とお母さんの、両立しています。

2017年に第一子を、2019年に第二子を出産。それぞれ産休・育休を取得できたほか、勤務地の希望や、時短や日勤限定など勤務時間の希望などにも配慮してもらったこと、それが昇進に響くことなく責任ある仕事を任せてくれることなども本当にありがたく感じています。



 医療生協さいたま

〒333-0831 埼玉県川口市木曽呂 1317

www.mcp-saitama.or.jp/

お問合せ先：医療生協さいたま生活協同組合

本部事業部 介護事業支援課 TEL：048-296-4720（直通）

E-mail：kaigo-saiyo@mcp-saitama.or.jp

2026年 2版

医療生協さいたま
法人 HP ▶



医療生協さいたま
介護事業所 HP ▶



Instagram ▶



SEIYUHAIGO